



豊富な経験と知識で

学生の実務への第一歩をサポートする

大学院医歯薬学研究所 臨床薬学実務教育学分野(薬学域)

阿部 真治 (あべしんじ) 助教

佐藤 智恵美 (さとうちえみ) 助教



「臨床薬学実務教育学分野」は、薬局や病院での実務実習をはじめとする臨床薬学教育において、薬学部の学生を支援・指導するために設置されています。

その中で阿部先生、佐藤先生の担当する授業の一つが「実務実習事前学習」です。

薬学部薬学科は6年制で、5年生になると病院・薬局で各11週間の実務実習を受けます。医療分野での薬剤師の立場は年々重要になっていきます。

先生たちの授業は文字通り、病院・薬局に実務実習に行く前、4年生を対象に臨床や薬学の基礎的な知識や技能、態度を学ぶものです。運転免許で言えば、路上に出る前のセンター内コースでの慣らし運転のようなものかもしれません。

具体的には、薬の調剤・製剤から処方箋の読み方、薬品管理、服薬指導、医療チームや患者さんと

のコミュニケーション、リスクマネージメントなどなど、非常に幅の広い授業となります。そのため前期後期を通じて多くの先生方が講師を務めてくれます。

阿部先生も佐藤先生も、病院や薬局で薬剤師として働いた経験を持っています。

「学生が安心して実務実習に入れるように、現場での経験を生かした学習が出来たらと思います」モスクワ大学のサドヴニチ総長は、

「本当によい人材は、大教室からは育ちません。一対一で、教授のそばに置いて育成しなければなりません」と言っています。

経験は力なりという言葉がありますが、阿部先生や佐藤先生方の経験に基づいた授業は、医療という重要な使命を担う学生たちの、心強いサポートになっています。

